

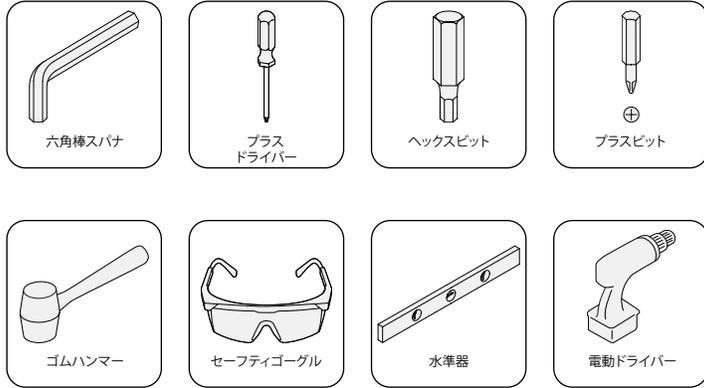
ハーマンミラー

Augment Ratio®ゲーミングテーブル 取り付け方

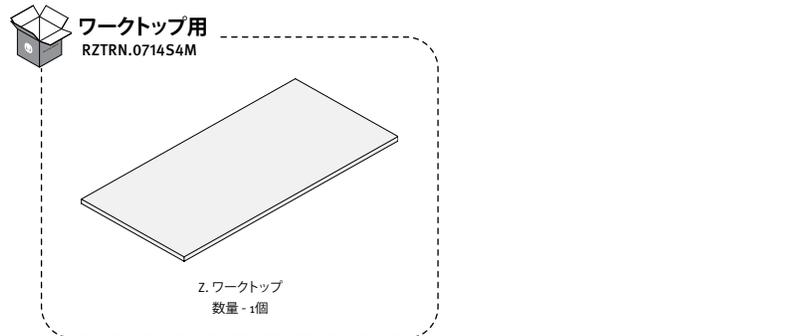
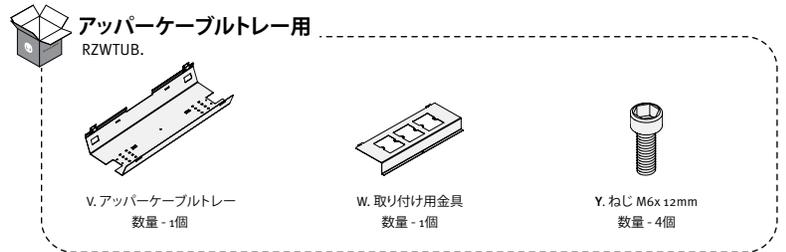
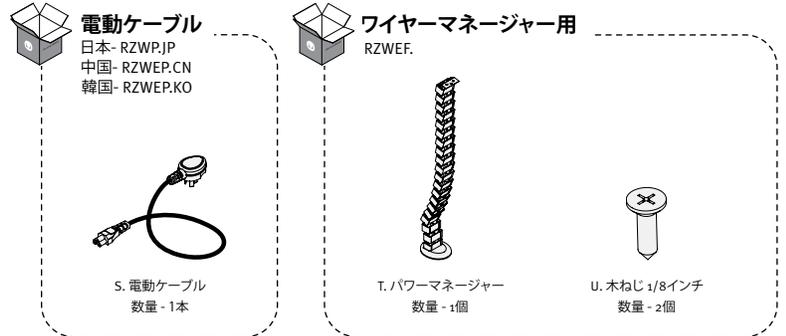
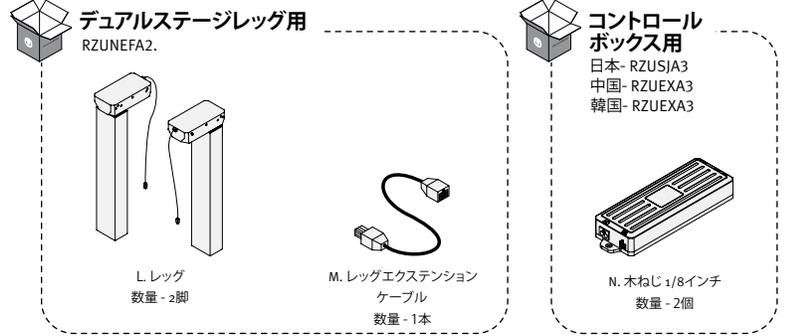
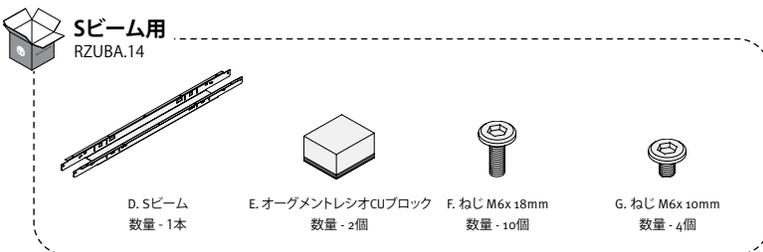
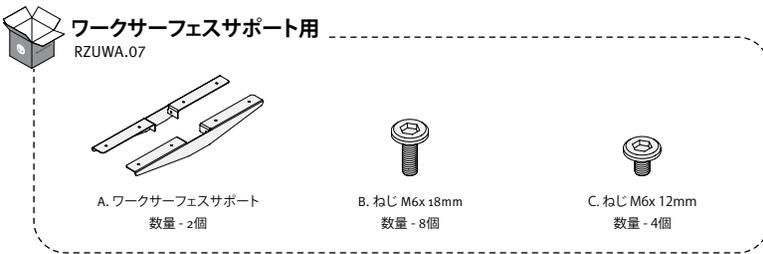


テーブルの組み立て方法。

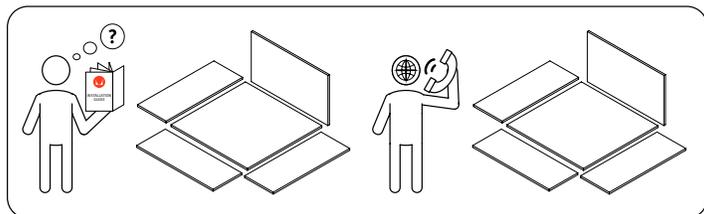
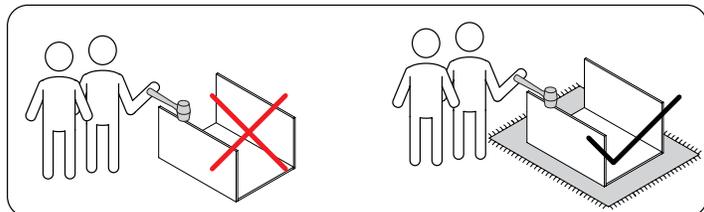
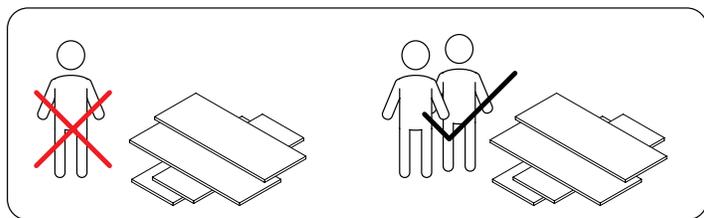
必要な工具



付属パーツ



一般注意事項



電動ドライバーを使用する場合は、低トルクに設定してください。

熱を帯びた表面にコードが触れないようにしてください。

開口部に物を落としたり、差し込んだりしないでください。

屋外で使用しないでください。

噴霧（スプレー）製品が使用されていた場所、または酸素管理が行われている場所では作業しないでください。

電圧調整

無負荷電流 $\leq 1.0A$

定格電流 $\leq 5.0A$

モーターの起動電流は、非常に速く変化します。最初の100ミリ秒では5.0Aですが、その後はすぐに2.4Aまで下がります。

デスクが昇降範囲の上限または下限に達したとき、あるいはコントロールボタンから手を離れたときは、自動的に止まる構造になっています。

高さ調節モーターのコントローラーには、衝突防止機能が組み込まれているため、天板がモノに接触した際は2秒間動いた後、反対方向に2秒間、約25mm移動します。衝突防止機能はデスク天板の上方および下方に対して機能します。

警告 - 感電の危険性 - 本製品は必ずアース付きコンセントに適切に接続してください。詳しくはアースについてをご覧ください。

積載する際は、必ず中央に重いものを載せ、負荷が分散するようにしてください。

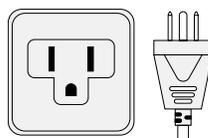
レッグはワークサーフェスを含め約100キロ (220lbs) の重さまで耐えられます。

アースについて

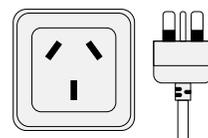
本製品は必ずアースを行ってください。誤作動や故障が生じた場合、アースによって電流が最も抵抗値の少ない方へと流れるため、感電の危険を減らすことができます。本製品には、機器接地線とアース付きプラグのあるコードが装備されています。プラグは、地域の規制および条例に従って正しく設置およびアースが行われている適切なコンセントに必ず接続するようにしてください。

危険 - 機器接地線を適切に接続しない場合、感電する危険が生じます。製品のアースが正しく行われているか疑わしい場合は、電気技師または修理業者に確認してください。製品付属のプラグには変更を加えないでください。コンセントに適合しない場合は、電気技師に適切なコンセントを取り付けてもらうようにしてください。

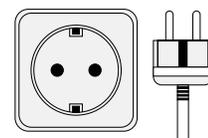
本製品は公称電圧回路で使用でき、以下に示す通りのプラグを擁するアースプラグが備わっています。製品は、必ずプラグと同一構造のコンセントに接続してください。本製品にはアダプターを使用しないでください。



日本仕様
プラグとコンセント



中国仕様
プラグとコンセント



韓国仕様
プラグとコンセント

公称電圧:

日本 - 100V 50HZまたは60HZ

中国 - 220V 50HZ

韓国 - (110)/220V 50HZまたは60HZ

ステップ1

フットの取り付け方

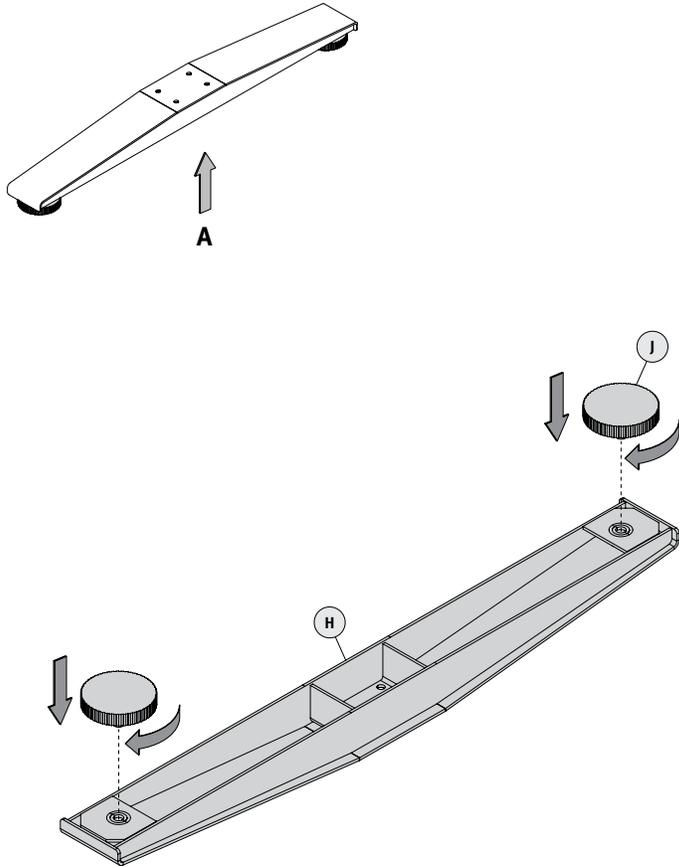


図 A

ステップ2

レッグの取り付け方

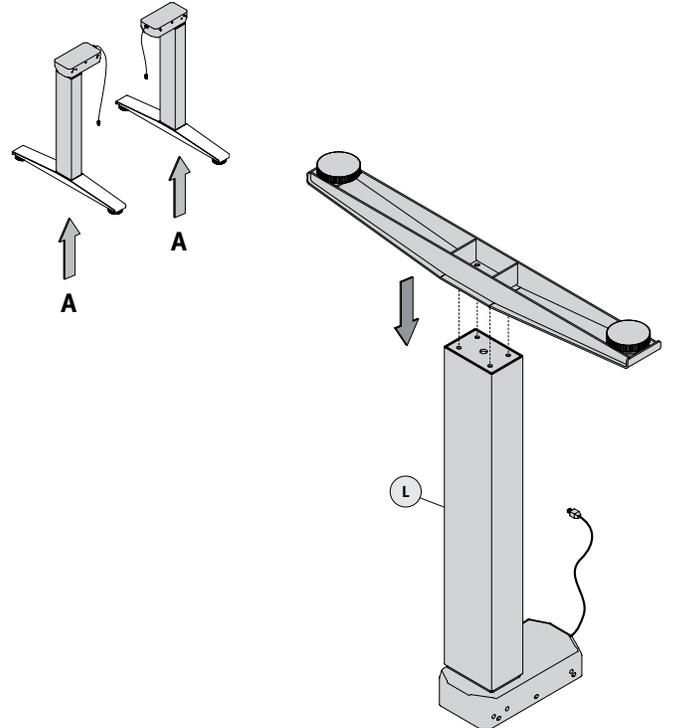


図 A

ステップ3

レッグの取り付け方

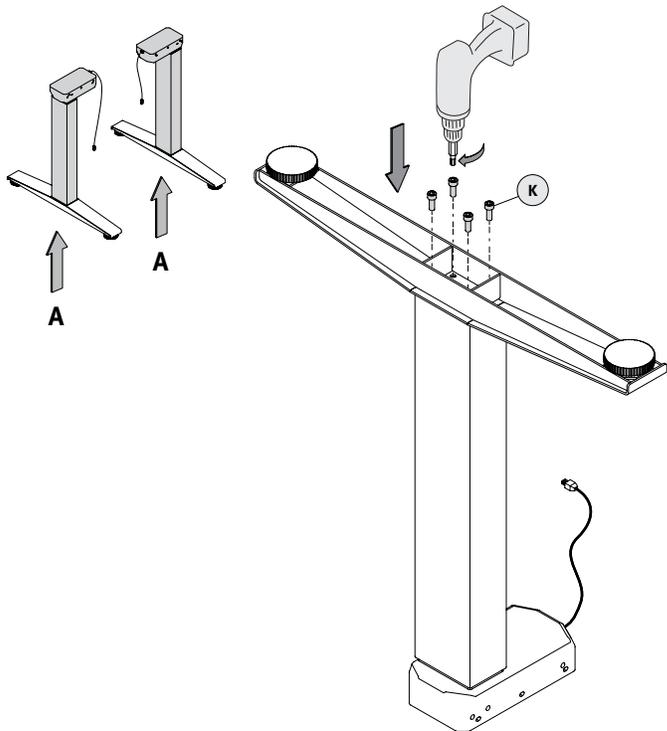
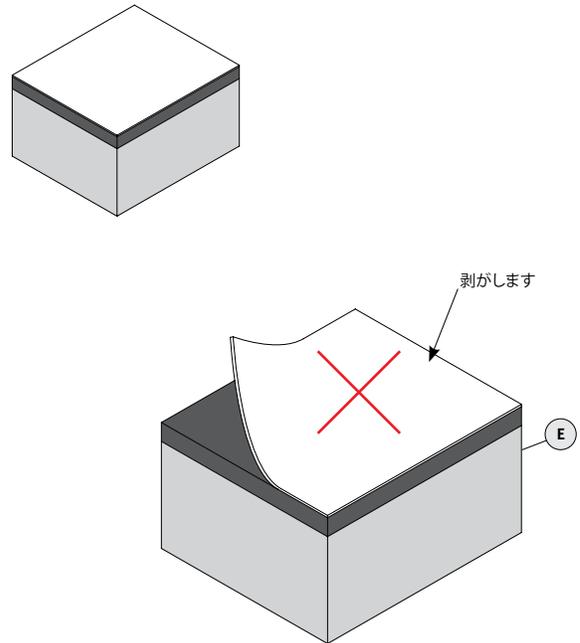


図 A

ステップ4

Sビームの取り付け方



ステップ5

Sビームの取り付け方

5.1 Sビームの内側中央にある長方形の開口部の正面にブロック(E)を突き刺します。

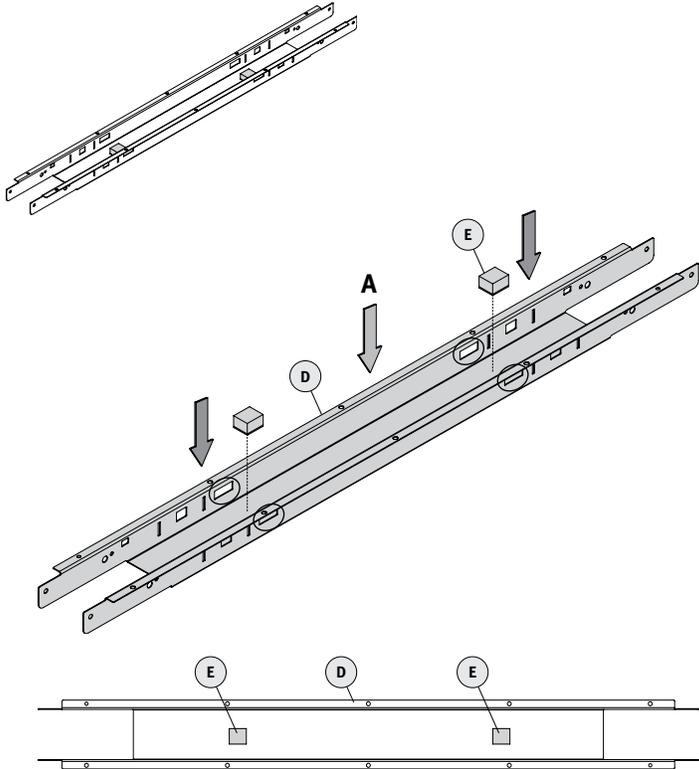
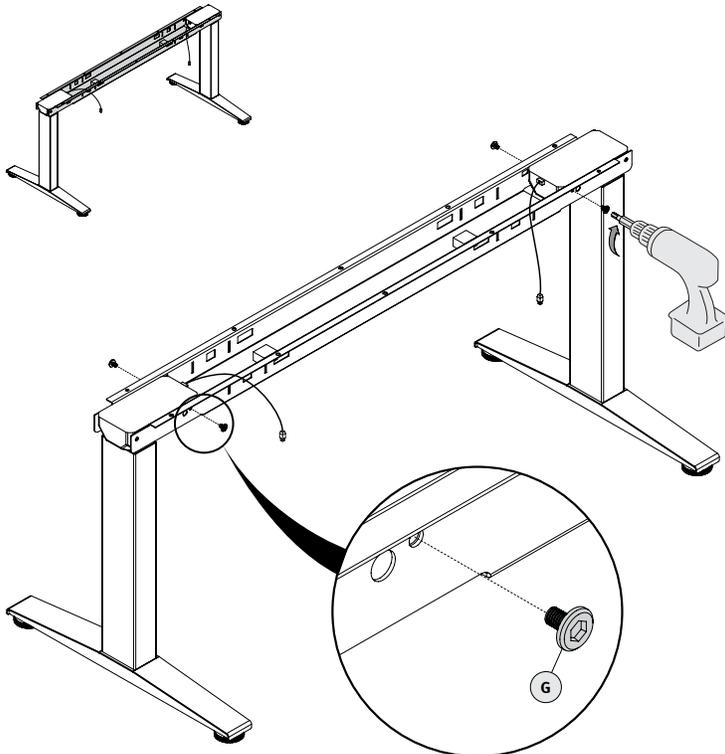


図 A

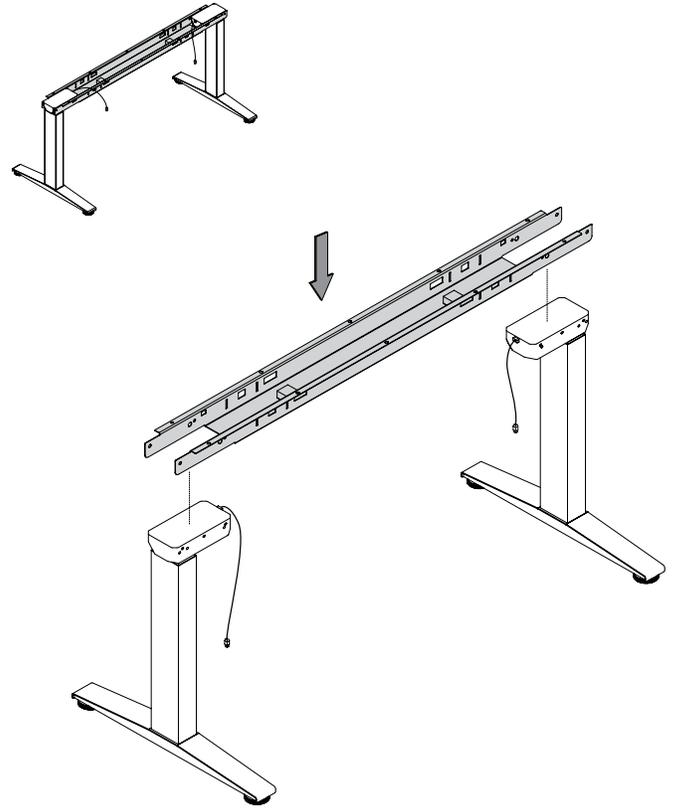
ステップ7

Sビームの取り付け方



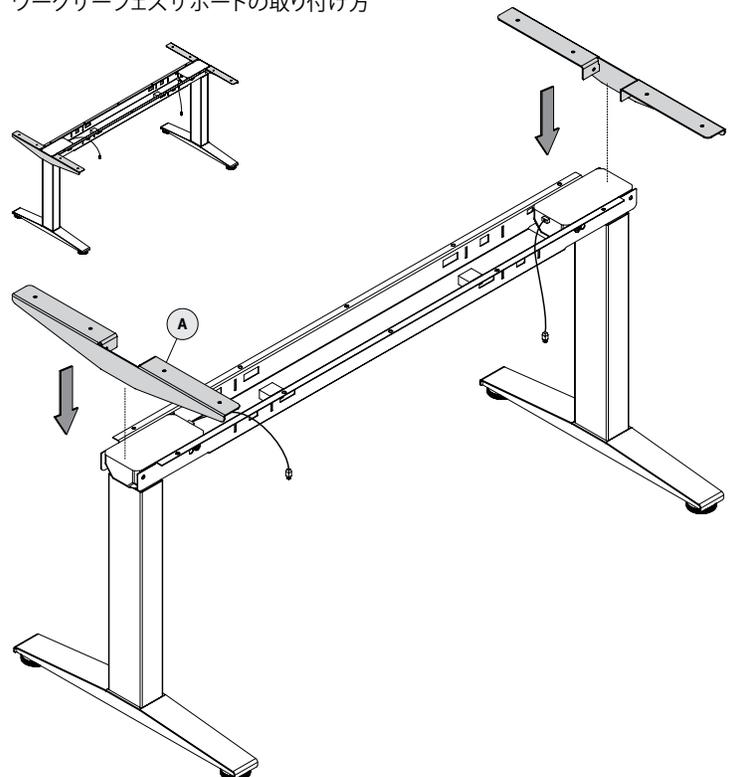
ステップ6

Sビームの取り付け方



ステップ8

ワークサーフェスサポートの取り付け方



ステップ9

ワークサーフェスサポートの取り付け方

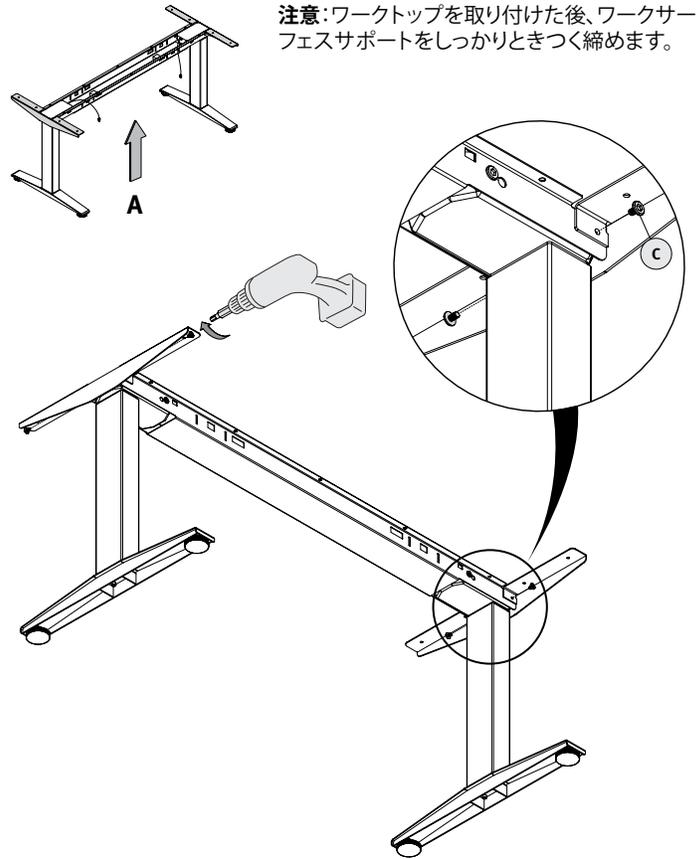
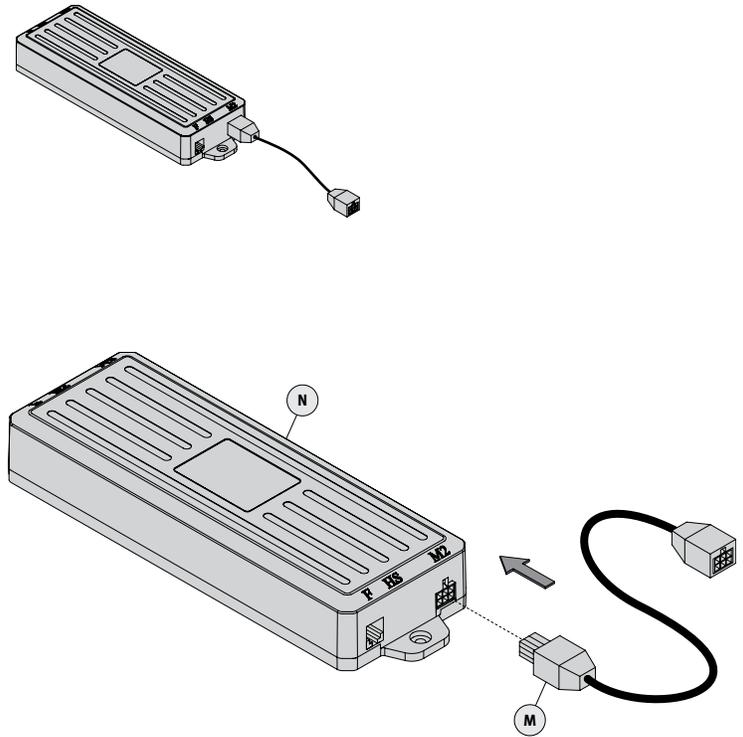


図 A

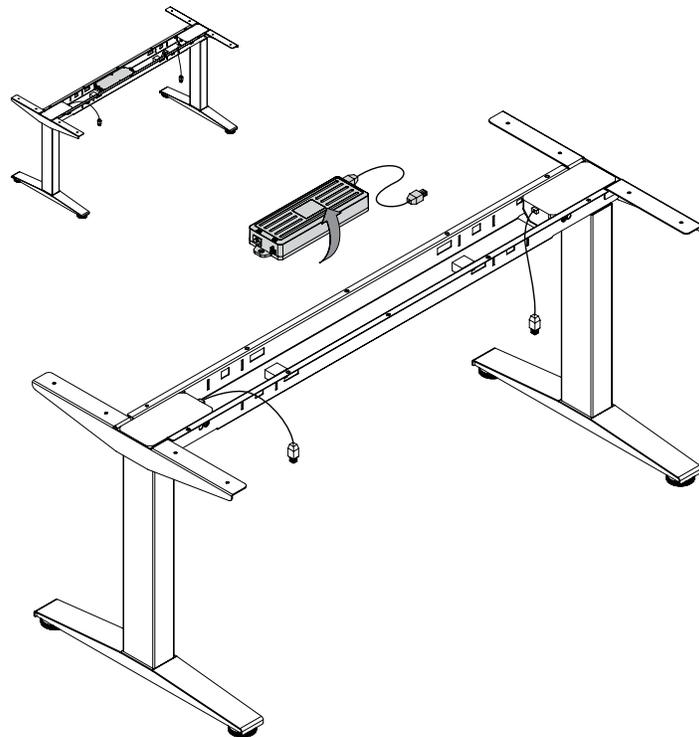
ステップ10

コントロールボックスの取り付け方



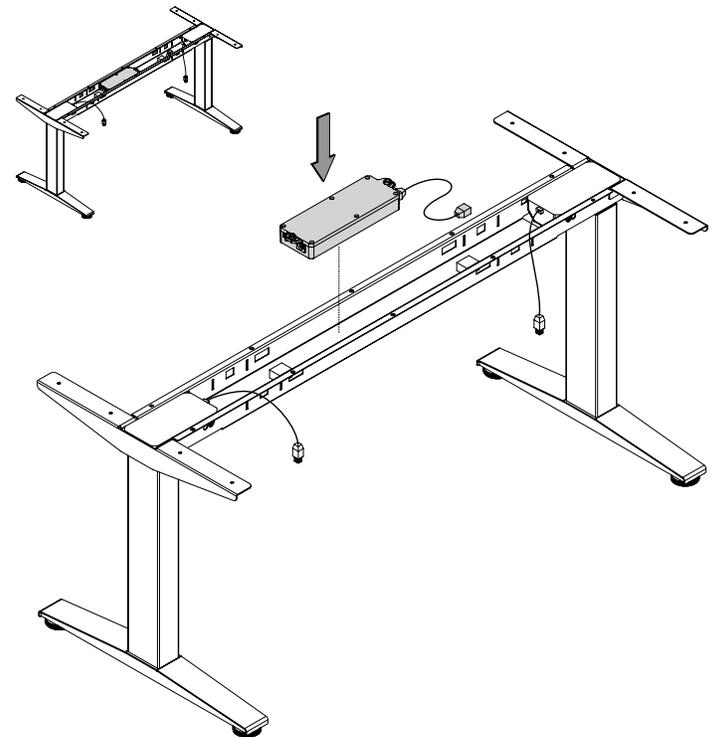
ステップ11

コントロールボックスの取り付け方



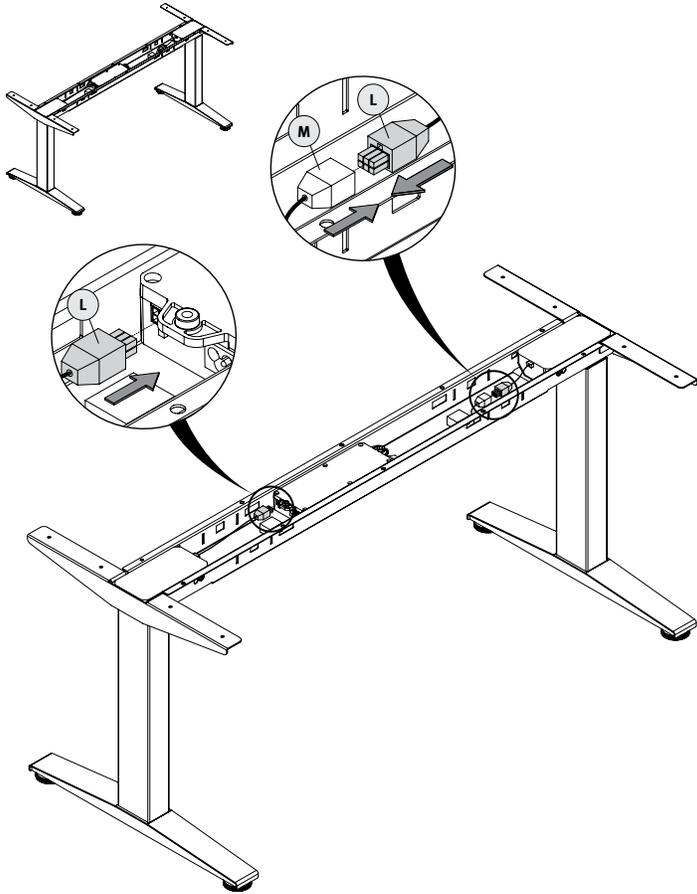
ステップ12

コントロールボックスの取り付け方



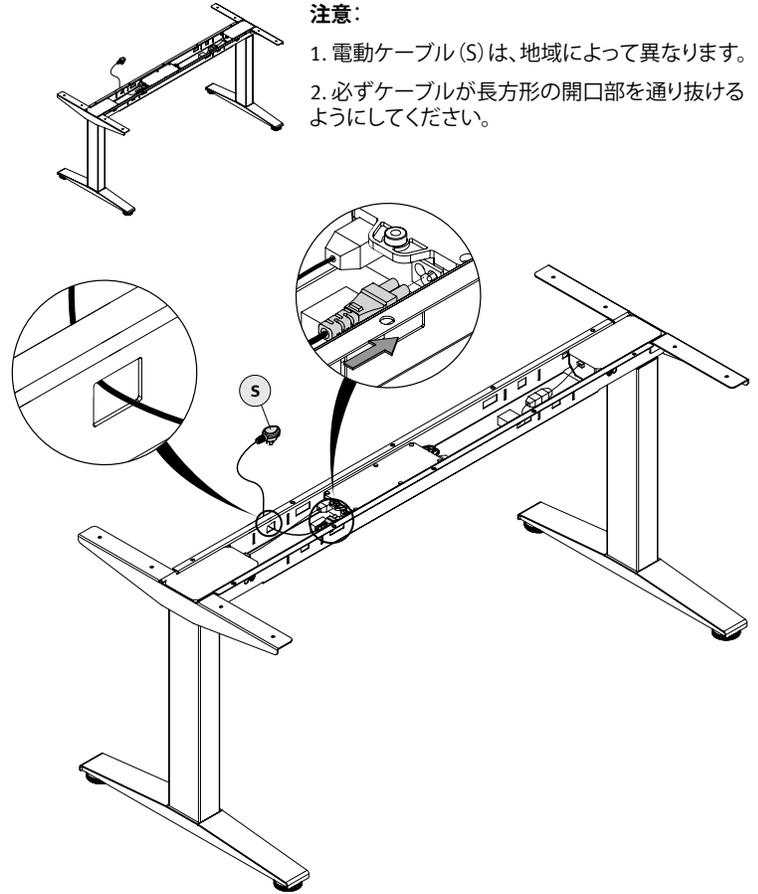
ステップ13

レッグ - 電気系統の取り付け方



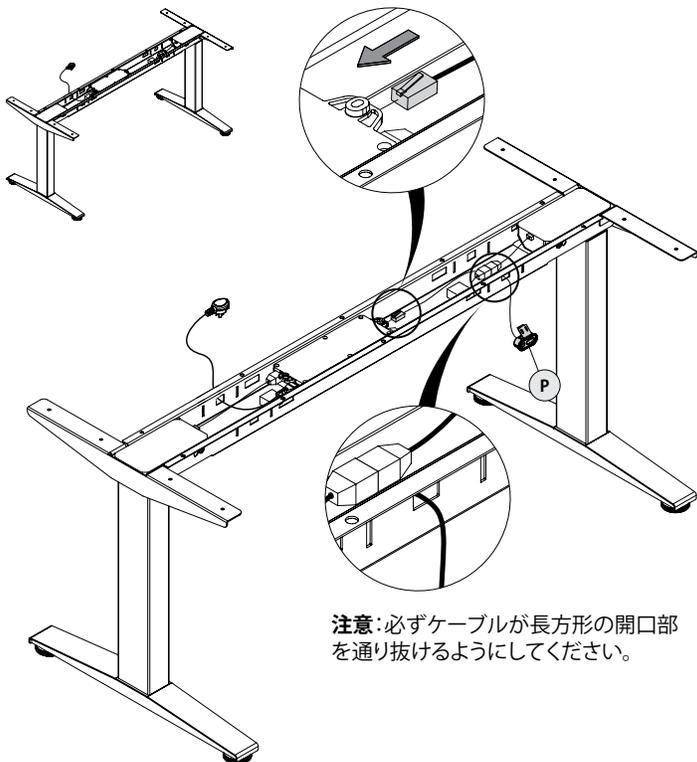
ステップ14

電動ケーブル - 電気系統の取り付け方



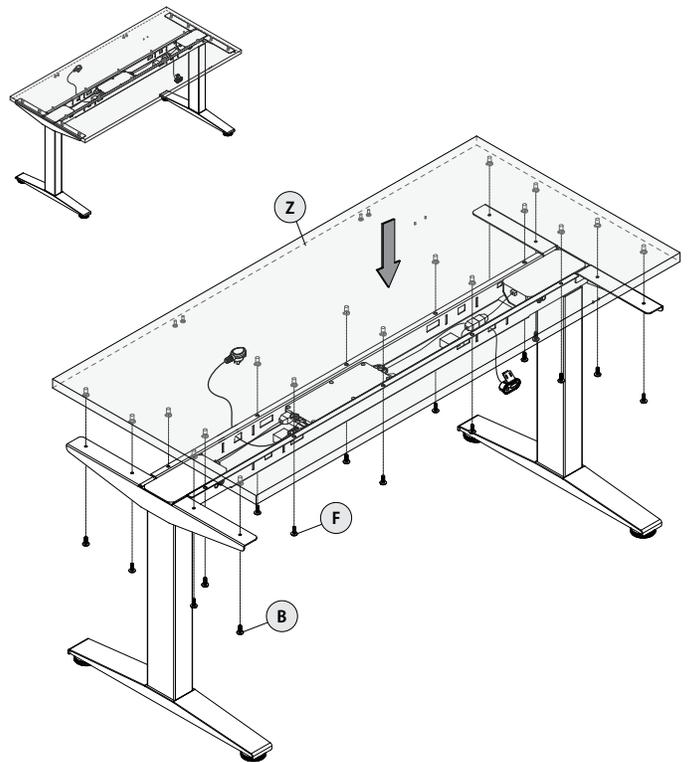
ステップ15

コントロールスイッチ - 電気系統の取り付け方



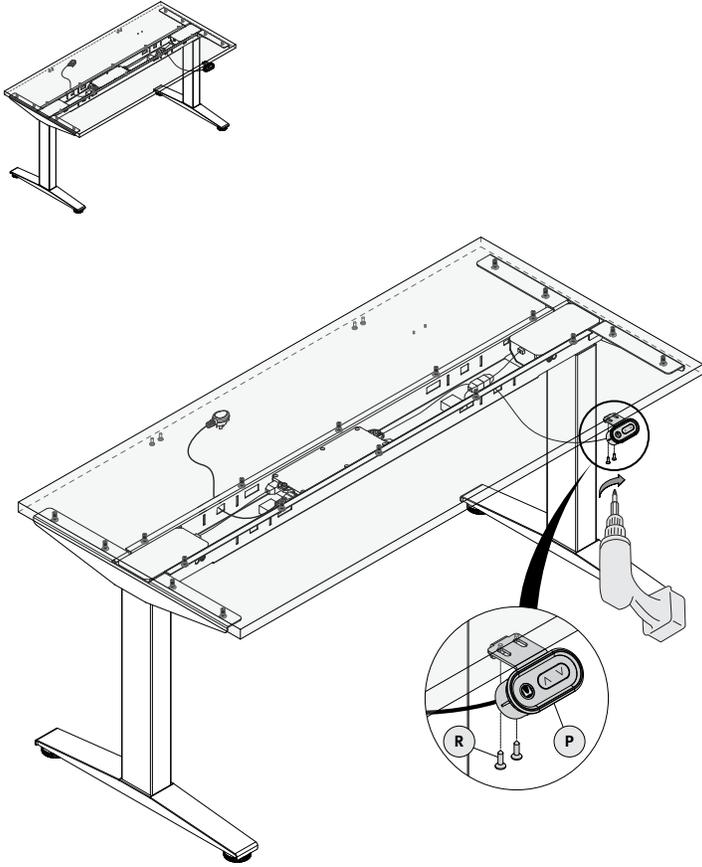
ステップ16

ワークトップの取り付け方



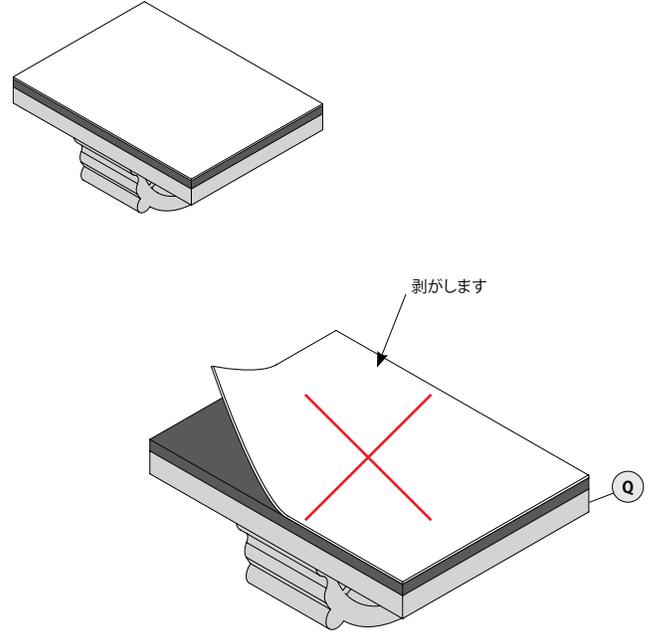
ステップ17

コントロールスイッチの取り付け方



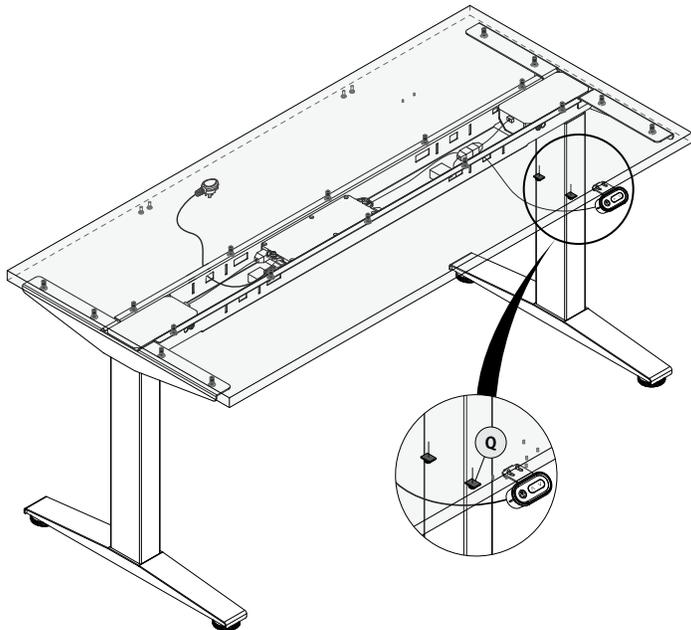
ステップ18

コントロールスイッチの取り付け方



ステップ19

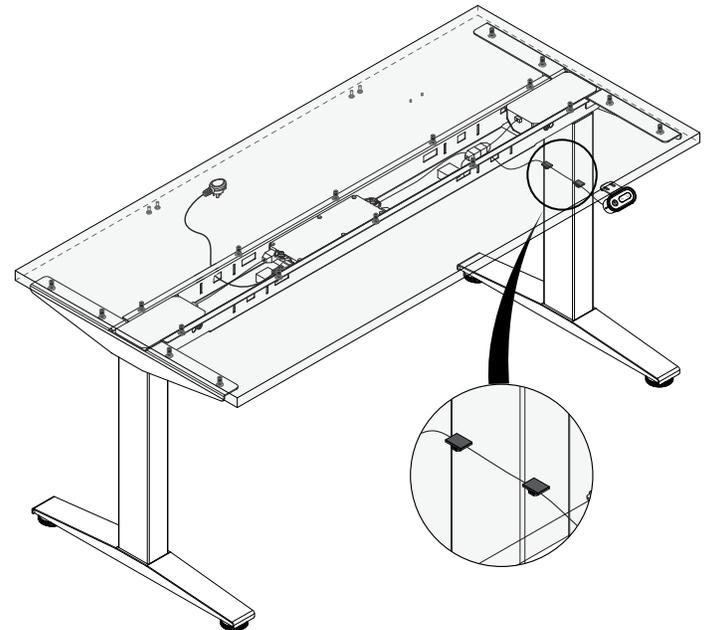
コントロールスイッチの取り付け方



ステップ20

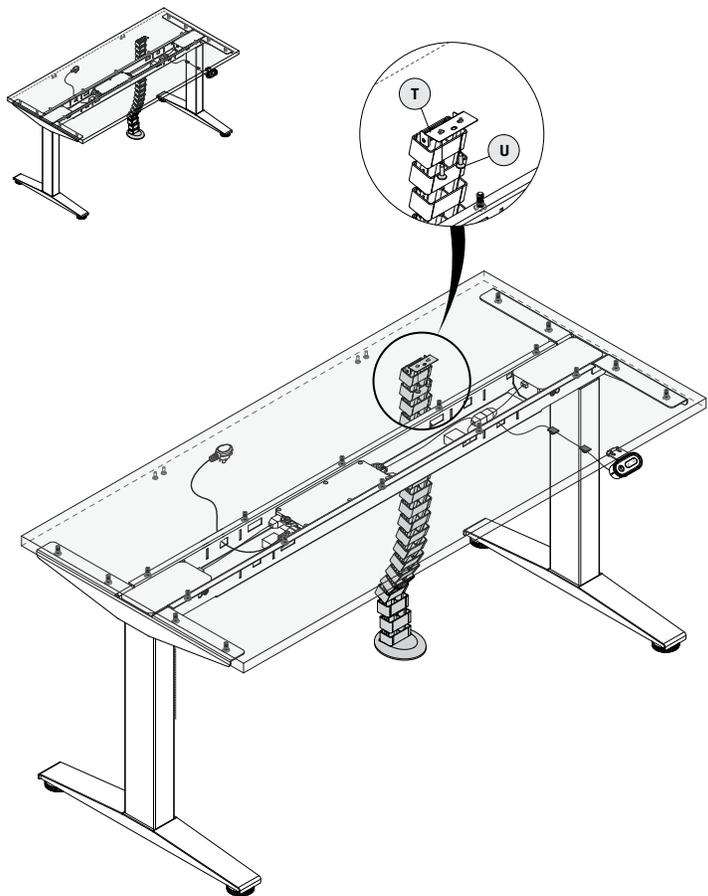
コントロールスイッチの取り付け方

注意:必ずケーブルをケーブル取り付け用金具(Q)にはめ込むようにしてください。



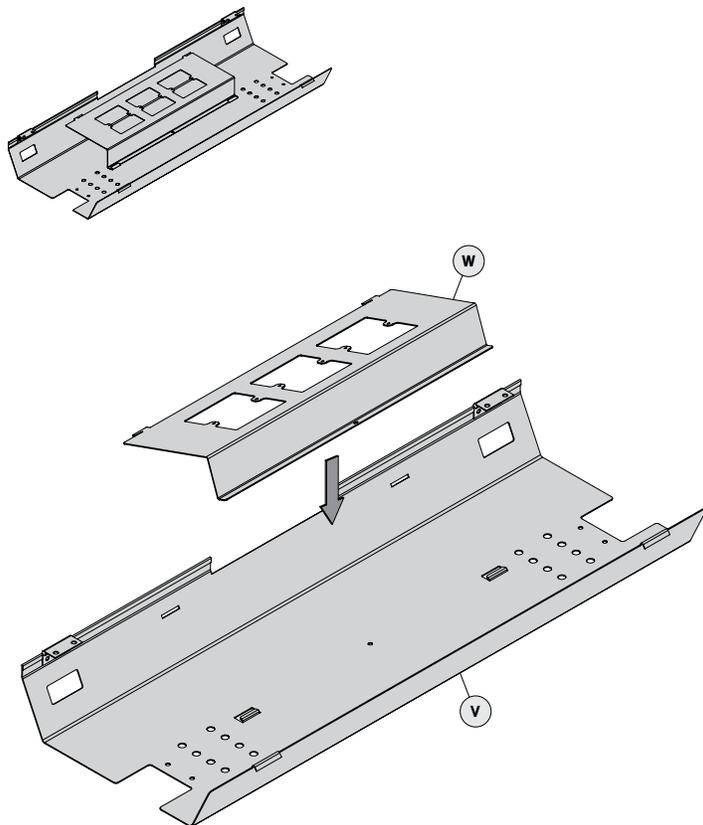
ステップ21

ワイヤーマネージャーの取り付け方



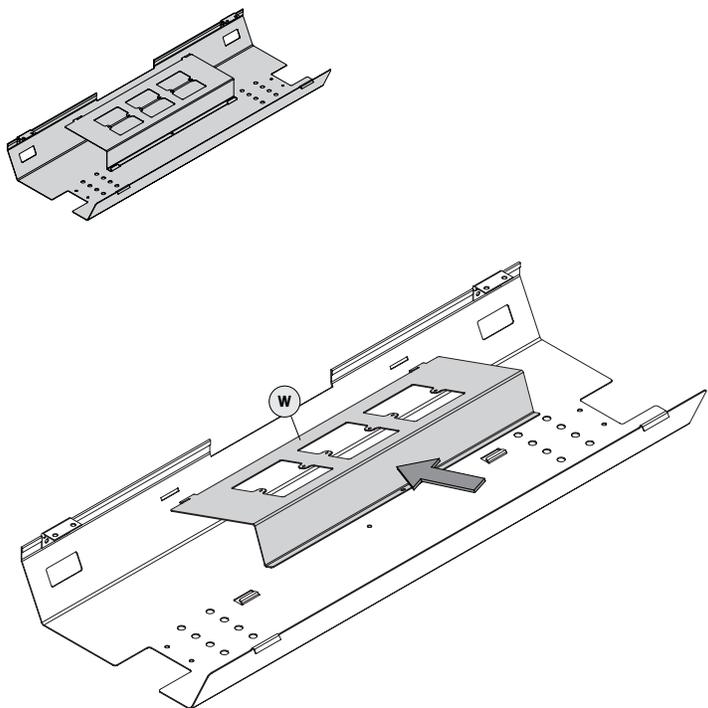
ステップ22

アッパーケーブルトレイの取り付け方



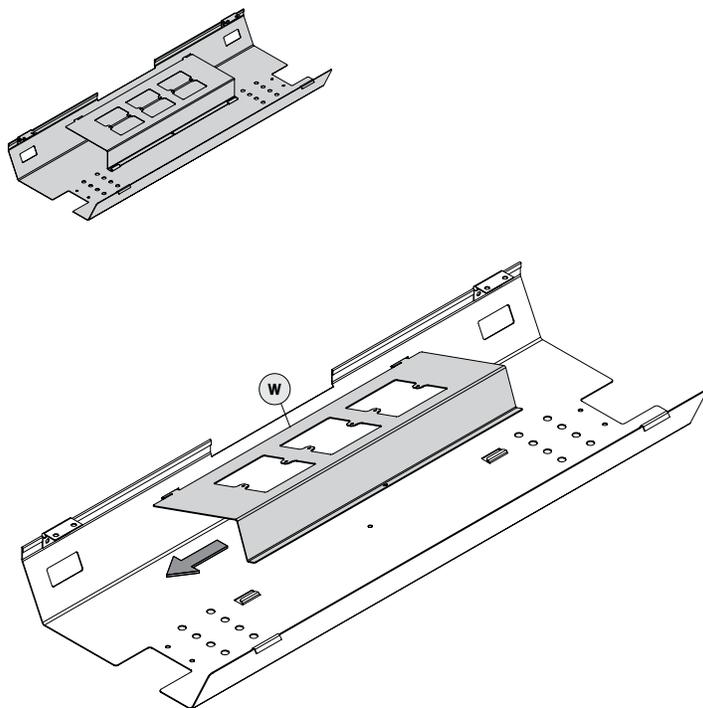
ステップ23

アッパーケーブルトレイの取り付け方



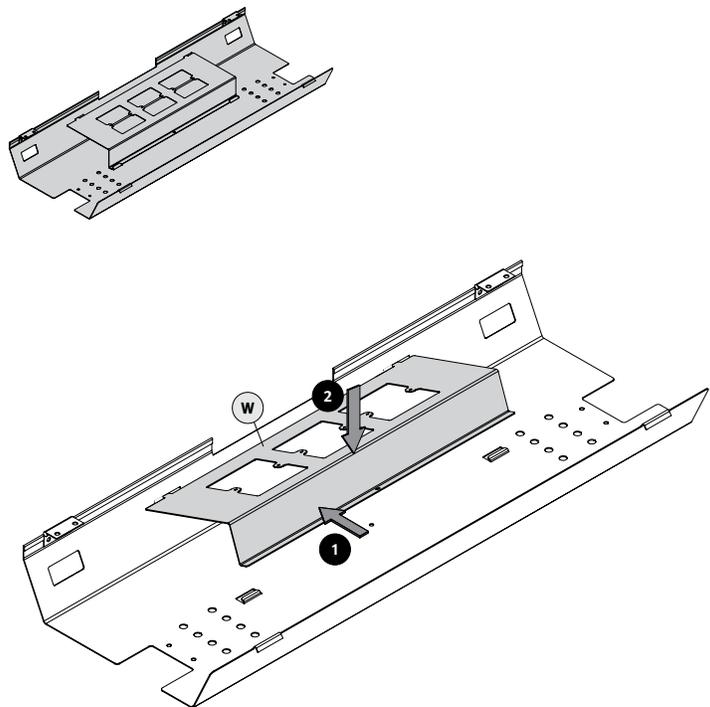
ステップ24

アッパーケーブルトレイの取り付け方



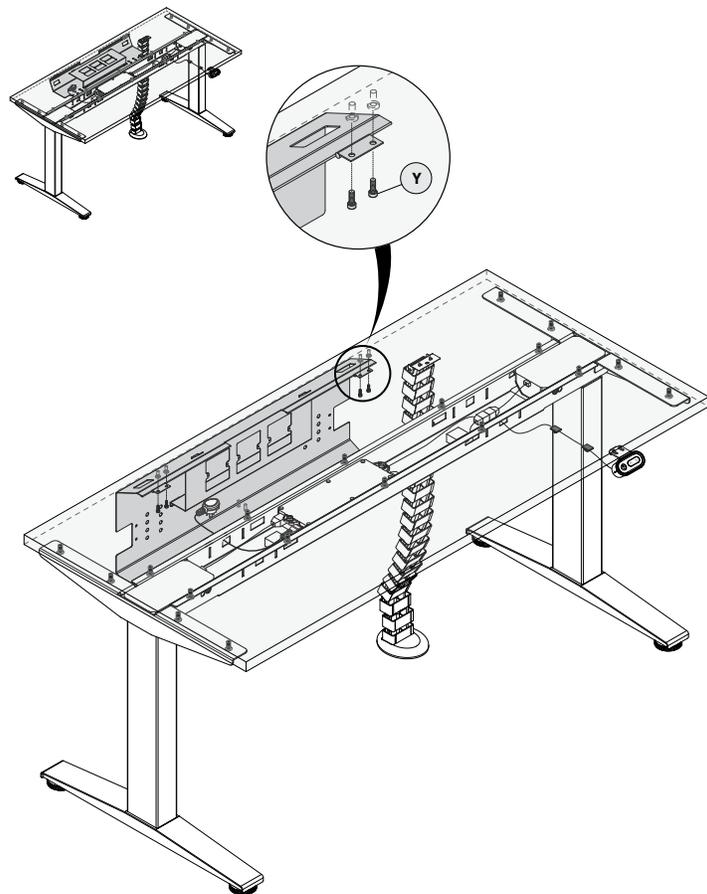
ステップ25

アッパーケーブルトレイの取り付け方



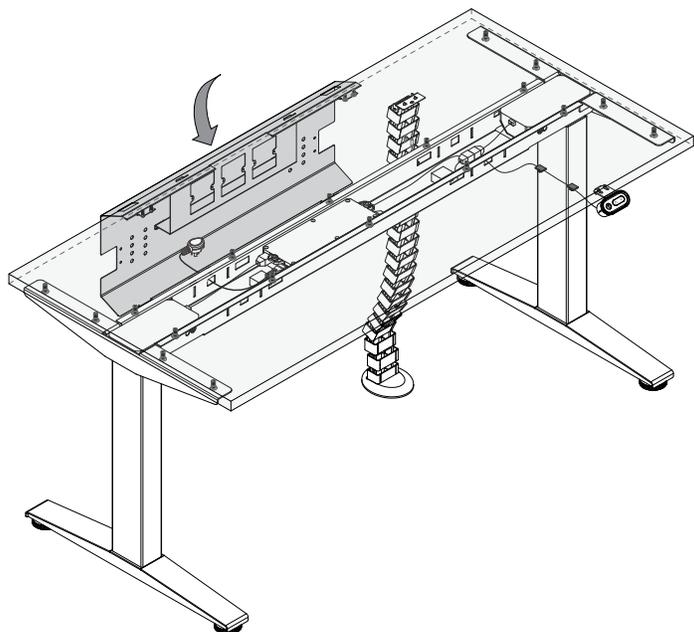
ステップ26

アッパーケーブルトレイの取り付け方



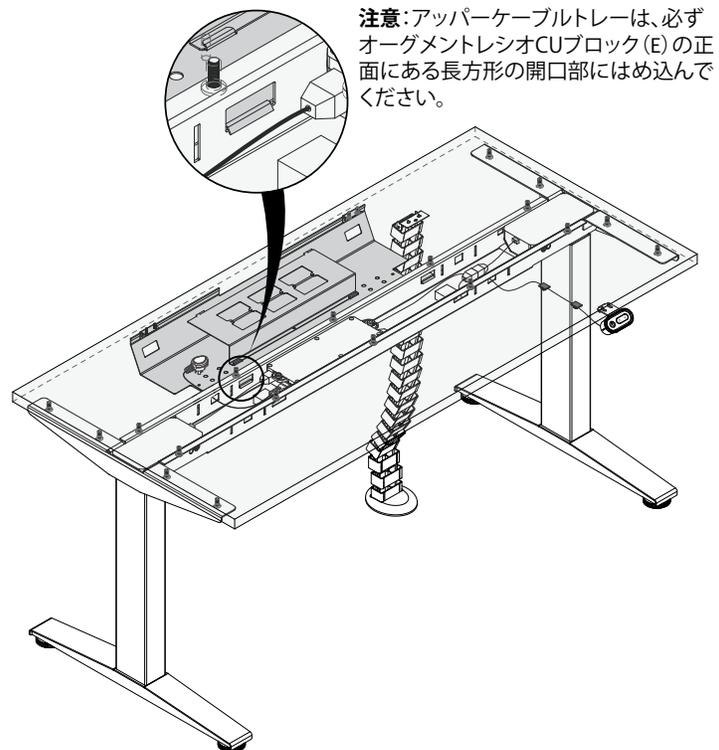
ステップ27

アッパーケーブルトレイの取り付け方



ステップ28

アッパーケーブルトレイの取り付け方



注意

電動式シット・トゥ・スタンドデスクの一般的な注意事項

オーグメントレシオの電動式デスクは、毎秒28mmの速度で、ワークサーフェスを床から650～1250mmの範囲で連続して高さ調節できます。

デスクは各国の仕様に適したハーマンミラーの差込コードを使用して、適切な電圧のコンセント本体に必ず接続してください。

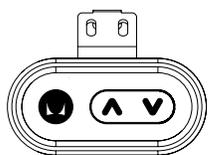
ケーブルは、ワークサーフェスに合わせて上昇および下降するため、ケーブル自体や他の装置との接続部でケーブルがピンと張ることがないように、十分な長さが必要です。同様に、デスクの昇降を妨げてはいけません。

重要:装置やワークサーフェスの動きに障害となるものがないことを確認してください。

安全のため、オーグメントレシオは、ユーザーが適用する製品の範囲全体で、オーグメントレシオの各エッジ部分が壁やストレージ、別のデスクなど設置個所周辺の表面が硬いモノから少なくとも25mm離して設置してください。

電動構造はモーターがオーバーヒートしないよう欧州の安全規格に従って設計されています。デスクは2分間は制限なく昇降しますが、その後停止し、再び動作するまでに20分間の静止時間が必要となります。静止時間が10分間のみであった場合、デスクは連続して1分間しか昇降しません。

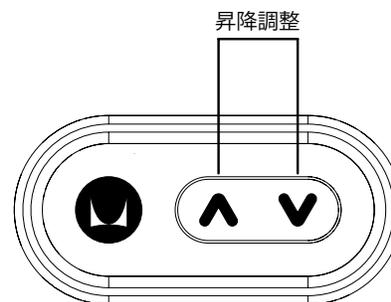
コントロールスイッチ - ベースのリセット方法



下向き矢印のボタンを長押しするとベースが少し低くなった後、やや高くなります。これで使用できるようになります。

5 秒間長押しします

コントロールスイッチ - 使用方法とセッティング



注意

デスク周辺に障害物を置かないようにしてください。デスクトップが壁に接しないようにしてください。デスクが昇降するのに十分な長さのケーブルであることを確認してください。

忠告

デスク周辺に障害物を置かないようにしてください。デスクトップが壁に接しないようにしてください。デスクが昇降するのに十分な長さのケーブルであることを確認してください。